

尿管ステント留置術を受けられる方へ(入院当日)

経過	準備	手術当日		術後1日目	術後2日目～4日目(退院)
		手術前	手術後		
達成目標	＜持ち物＞ 承諾書 寝衣：和式の寝間着 (レンタルの場合ガウンタイプを選んで下さい) 手術翌日以降は一般的な寝間着をご利用頂けます その他の持ち物は「入院のご案内」をご参照下さい	・手術の必要性が理解できる ・手術の準備が理解できる。 ・身体的に問題なく手術にのぞむことが出来る。	・血尿が悪化しない ・発熱がない	血尿が悪化しない 発熱がない 離床が進む	自尿がある 血尿が改善する 退院後の日常生活における注意点について、理解することができる。
検査処置		弾性ストッキングを採寸し、着用します。 ガウンタイプの術衣(和式の寝間着)に着替えます。	全身状態をモニタリングします	血液検査があります レントゲンの検査があります 医師の許可があればモニター類を外します	
留置物		点滴の針を入れます。	点滴の針が入っています 尿の管が入っています	術後発熱がなければ回診時、尿の管を抜きます	医師の許可があれば針を抜きます
内服点滴	＜飲食について＞ 前日の飲食については外来受診時にお伝えします ＜中止薬＞ 中止が必要な内服薬は指示された期間から内服しないよう注意して下さい	＜朝の内服＞ 医師指示の内服がある場合、6時までに少量の水で服用してください ＜点滴＞ 入院後点滴を開始します	点滴があります。		退院時の状態に合わせてお薬を処方します。
活動安静度	＜そのほか＞ 手術時間は入院後お伝えします 手術中の院内待機は現在行っていません	歩いて手術室へ向かいます。 	手術直後はベッド上で安静です。 便意がある際は看護師へお伝えください。 安静解除後も麻酔副作用予防のため、できるだけ安静にしてください(トイレ・洗面程度)。 血尿や麻酔の副作用の状態によって、活動を制限することがあります。	制限はありません	
食事		食事：絶食です。 水分：6時以降絶飲です。	帰宅後、覚醒状況により飲水が可能になります。 手術後の状態により夕食から食事を開始します。 午後手術の場合、食事開始は医師の指示によります。	制限はありません	
清潔		シャワー浴できません。		シャワー浴が可能です。(尿の管が入っている場合は清拭となる場合があります)	
排泄		手術室入室までに排泄を済ませておいてください。	排尿：尿の管が入っています。 排便：安静解除後、トイレで排泄できます。 手術後はテープ式オムツを着用します。	尿の管を抜いた後は蓄尿を開始します 尿はカップに取って捨てずに全てためて下さい	
説明指導		薬手帳と持参薬の確認をします。 術前オリエンテーションを行います。 承諾書(手術・麻酔)を確認します。	痛みがある場合はお知らせください。 点滴や尿の管が入っていますので移動には注意してください。 腰椎麻酔の副作用予防、尿量の確保のために水分を積極的にとってください。		退院は10時です。 退院指導 38度以上の発熱や、血尿が悪化する場合、尿の出にくさを自覚した場合は受診相談の連絡をしてください。

※患者様の状態によって変更する場合がありますのでご了承ください。尚、ご不明な点がありましたら看護師までお尋ねください。
※入れ歯、ジェルネイル、カヅラ、アクセサリ、コンタクトは手術当日処置等が必要な際は取り外しをお願いします。また入院中のお化粧もご遠慮下さい